

令和5年第15回教育委員会会議

1 日 時

令和5年11月14日(火)

開会 16時00分

閉会 17時00分

2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

3 出席者

北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、新家久司委員、眞鍋知子委員、高野勝委員、辻奈穂子委員

4 説明のため出席した職員

吉田雅英教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、山本一彦庶務課長、高倉英明教職員課長、北島公之学校指導課長、岩木智子生涯学習課長、辻江冬樹文化財課長、瀬戸博邦保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第28号 文化財の県指定に係る石川県文化財保護審議会への諮問について
(原案可決)

議案第29号 令和6年度石川県教職員人事異動方針について (原案可決)

6 報告

報告第1号 令和6年度石川県立盲学校・ろう学校寄宿舍指導員採用候補者の
選考結果について

報告第2号 令和6年度石川県立学校実習助手(農業・工業)採用候補者の
選考結果について

報告第3号 教職員勤務時間調査の集計結果(上半期(令和5年4月~9月))
について

7 審議の概要

・開会宣告

北野教育長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第28号は審議会への諮問予定案件のため、議案第29号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。

・質疑要旨

以下のとおり。

報告第1号 令和6年度石川県立盲学校・ろう学校寄宿舎指導員採用候補者の選考結果について（高倉教職員課長説明）

それでは、報告第1号、「令和6年度石川県立盲学校・ろう学校寄宿舎指導員採用候補者選考結果」について、ご説明申し上げます。

寄宿舎指導員は、寄宿舎における児童又は生徒の日常生活上の世話及び学習指導や生活指導に従事するものであります。

お手元の資料8ページをご覧ください。

はじめに、「1. 候補者数」についてですが、受験者16人の中から、採用候補者として3人を選考し、最終的な競争倍率は、5.3倍となりました。

「2 結果発表等」につきましては、10月27日午後3時に、採用候補者の受験番号を県教委のホームページ等で公表するとともに、全受験者あてに結果を発送したところであります。

「3 今後の予定」につきましては、令和6年4月1日より任用となります。

【質疑】

なし

報告第2号 令和6年度石川県立学校実習助手（農業・工業）採用候補者の選考結果について（高倉教職員課長説明）

次に、報告第2号、「令和6年度石川県立学校実習助手（農業・工業）採用候補者選考結果」について、ご説明申し上げます。

実習助手の職務内容は、主に、実験又は実習について、教諭の職務を助けることであります。

お手元の資料9ページをご覧ください。

はじめに、「1. 候補者数」についてですが、農業については、受験者6人の中から、採用候補者として2人を選考し、また、工業については、受験者10人の中から、採用候補者として3人を選考しました。その結果、最終的な競争倍率は、農業が3.0倍、工業が3.3倍となりました。

「2 結果発表等」「3 今後の予定」につきましては、寄宿舎指導員と同様であります。以上です。

【質疑】

（新屋委員）

寄宿舎指導員の方でもお聞きしようと思ったのですが、倍率が教員採用試験と比較して高くなっていますが、こういった方が受験されているか、差支えが無ければ教えてください。

例えば、実習助手の農業や工業では専門的な分野になりますから、ある程度の知識のある方が受けているのか、また高校生が受けているのかどうかについても差支えが無ければ教えてください。

（高倉教職員課長）

まず寄宿舎指導員についてですが、16人の受験者のうち、現在寄宿舎指導員を既に臨時的任用として勤務されている方が6名いらっしゃいます。それ以外の方は、民間の方から受験されております。

また、実習助手につきましては、16人の受験者のうち、現在実習助手を既に臨時的任用として勤務されている方が11名いらっしゃいます。残り5名につきましては、民間から受験された方となっております。

報告第3号 教職員勤務時間調査の集計結果（上半期（令和5年4月～9月））について（高倉教職員課長説明）

次に、報告第3号、「教職員の時間外勤務時間の状況について（令和5年度上半期（4月～9月））」につきまして、結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

「調査の目的」についてですが、県教委では、平成29年度から勤務時間調査を実施し、平成30年度から県下で足並みを揃えて、多忙化改善に向けた取組を行っております。

取組の成果は一定程度出ているものの、今後も取組を後退させることなく、不断の取組として継続することとしており、引き続き、時間外勤務時間を把握するものであります。なお、調査項目については、従前より簡素化しています。

「調査の概要」についてですが、

ア 調査期間は、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの半年間であり、
イ 調査対象は、これまでの勤務時間調査と同じで、公立小中学校、県立学校、合わせて計333校のフルタイムで勤務する教職員8,083名で、調査対象の職種は、校長、副校長、教頭をはじめ、記載のとおりであります。

ページをおめくりいただき、11ページをご覧ください。「1. 令和5年度上半期（4月～9月）分の集計結果」であります。

この表は、時間外勤務時間の一人1か月あたりの平均と時間外勤務時間の人数分布を、小・中・高・特別支援の校種別に表したものであります。

時間外勤務時間の一人1か月あたりの平均は、表の左から2列目に表記してありますが、今年度は、小学校、中学校、全日制高等学校においては、カッコ書きで示されている令和4年度の同時期と比べて減少していることが見てとれます。

下の「2. 各年度上半期（4月～9月）分の経年比較」をご覧ください。時間外勤務時間の校種別月平均について、取組前の平成29年度から令和5年度までのうち、令和2年度を除く6年間分の比較ができるように、校種毎のデータを棒グラフで表したものであります。

なお、令和2年度は、4月～5月の一斉臨時休校、7月～8月の夏休み中の授業の実施など、例年とは異なる状況がありましたので、経年比較からは除いています。令和4年度と比較すると、令和5年度は、小学校は、2.3時間の減、中学校は、3.1時間の減、全日制高等学校は、0.9時間の減となっております。

12ページをご覧ください。

時間外勤務時間が月80時間を超える教職員の割合は、丸で囲んでありますグラフの右側から2つの区分、80～100時間と100時間超の割合を加えた値となっており、一番下の枠内に記載してあるように、令和4年度と比較すると、令和5年度は、小学校は、4.0%から3.0%へ、1.0ポイント減少、中学校は、18.5%から16.0%へ、2.5ポイント減少、全日制高等学校は、5.3%で変わりありません。中学校で減少していますが、依然として高い状況となっております。

参考として、13ページから16ページにかけて月別推移が載せてありますので、ご覧おき下さい。

以上、具体の数字を申し上げましたが、昨年度と比べて小・中学校、全日制高等学校において減少した要因について、いくつかの学校や市町教育委員会から聞き取りを行ったところ、小・中学校では、

- ・保護者からの欠席連絡や、保護者への連絡配信等に活用するスマートフォンアプリの導入

- ・共有サーバーを活用して教材の共有化が浸透したこと

また、高等学校では、

- ・採点ソフトの活用慣れすることで、テストの採点時間が減ったこと

- ・校務分掌の見直しにより業務の平準化が進んだこと

などで効果があったのではないかとのことでした。いずれの校種においても、ICTの活用が進んだことや、これまで継続して取り組んできたことの効果が、少しずつではありますが、出てきているとともに、確実に教職員の意識・行動は変化してきており、長時間労働を良しとせず、業務の効率化を図りながら、できるだけ定時に帰宅しようとする人が増えてきているようです。

なお、先月の20日に、多忙化改善推進協議会を開催した中で、取組の状況や、只今報告した時間外勤務時間の状況について情報を共有したところであり、参加された委員からは、

- ・好事例を積極的に発信し、全ての学校で同じことが出来るよう、横展開が大切である。

- ・来年度の取組に向けて、今年度中に出来ることから進めていく必要がある。

などの意見もありました。

今後も勤務時間調査を継続し、一步一步着実に、多忙化改善に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。

【質疑】

(高野委員)

15ページの資料を見ると、中学校で8月に0.5%、高校で1.8%と、中高合わせて50人くらいが8月中も80時間を超える残業していることになります。どういった業務で残業しているのですか。

(高倉教職員課長)

県立高校につきましては、コロナが収まったということで、県外への遠征や練習試合に行く競技が増えてきたようでございます。

(高野委員)

つまり、夏休み中の土日に出張した、それが1.8%ということですか。

(高倉教職員課長)

そうです。

(高野委員)

中学校も同じですか。

(高倉教職員課長)

中学校については詳しく分析ができておりません。

(眞鍋委員)

資料の11ページですけれども、経年比較を見ますと、各校種ではずっと下がってきていますが、小中高で比べると、中学校の時間が他の校種に比べると非常に長いですよ。これについてどうお考えなのか、まだまだ減らすことができるとお考えなのか、あとは部活動の問題かなと思いますので、部活動の地域移行の問題と絡めて状況を教えていただければと思います。

(高倉教職員課長)

義務にも高校にも標準法という法律がございまして、それにより教員の定数が決まっていますが、若干義務の方が厳しめとなっています。1人の教員の持ち時間が、高校と比べて中学校の方が多という現状がございまして、ですから、どうしても授業準備や部活動で勤務時間をはみ出してしまっていることが起こっています。

その中で取り組みを進めて平成29年には74時間ほどあったものが今24時間ほど減っていますが、最終的には部活動のはみ出した分をどこまで減らせるかということで、部活動の地域移行が今後どのように進んでいくかによると思います。

(瀬戸保健体育課長)

部活動の地域移行についてですけれども、今国では公立中学校の部活動についてまず休日に地域移行を進めるということとしております。

本県では令和3年度には2市町4校の運動部で始めていまして、それが昨年度は3市町5校の運動部や文化部で実践研究というものに取り組んで、その中でいろんな課題や成果を聞いているところです。

結果、指導者や運営団体などの受け皿があれば、休日の地域移行は可能であるとの成果がありまして、課題については、安心して任せられる指導者が必要であること、運営団体の確保が必要であること、平日の部活動との連携をどのようにしていくか、活動に要する費用負担の在り方について検討がされているところです。

今年度も国の事業を活用しまして、体制整備ですとか、市町ごとに協議会を設置するなど、少しずつではありますが、地域移行について進めているところであります。

(新家委員)

一つの意見としてお聞きください。

11ページを見ながらお話しします。私の孫が金沢市内の小学校に通っているものから、小学校の中でもICT化ですとか、色々なことにチャレンジされているのは知っております。

ただ、平成29年度から統計を取り始めて、先生方も一生懸命やっておいでと思いますが、6年経ってもまだ100時間を超える先生がいるというのはちょっとどうなのかなという気がしています。

これからも平均の時間のデータを報告いただければいいのですが、新年度から、例えば100時間を超える人はもう出さないとか、そういう目標を一つ作って具体的な運用に入っていく時期に来ているのかなと感じています。以上です。返答は結構です。

(北野教育長)

ご意見を承りまして、また考えていきたいと思えます。

(新屋委員)

11ページの平成29年度のデータを見てみると、徐々に減ってきていて非常に喜ばしいです。学校現場でも色々と工夫されているのだらうと思えますが、そろそろ限界点に近づいているのではないかと思います。

国の方で抜本的にこの問題を解決しようとして新たな施策を考えているのかどうか、最近の動向を教えてくださいたいと思えます。

(高倉教職員課長)

自民党からの国への要望の中でも、定数改善が必要との話が出ていますし、また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、スクールサポートスタッフの予算を取っていくことはあります。そういった動きはありますが、もっと大きな動きを作っていただきたいところです。

(新屋委員)

国の方も、そういった人材の確保にお金がかかるので難しいと思えますが、このままでは限界点のあたりで、問題が解決しないままズルズルいってしまうかと思えますので、本当に抜本的に解決するためにも中学校の定数改善を強く要望してもらえないかと、いつまで経っても状況が変わらないのではないかと懸念しています。

(北野教育長)

基本的には仕事の量が減るか、人が増えるかというのが抜本的な改善だと認識していきまして、国の方には定数改善について強く何度も要望しているところです。仕事の量については、先ほどから話題に挙がっている部活動の地域移行について、国の方も考えているようです。確かに、平成29年度から始めて、ドラスティックに減ってきましたけれども、大分きているところではあるので、細かいところでは無駄を省いていくことをやらなければならないと思っていますし、おっしゃるとおり、国に求めるべきものは求めていきたいと考えております。

(北野教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 28 号 文化財の県指定に係る石川県文化財保護審議会への諮問について（辻江文化財課長説明）

辻江文化財課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 29 号 令和 6 年度石川県教職員人事異動方針について（高倉教職員課長説明）

高倉教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

- ・ 閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。